

きらきらひかる 中和っこ



親が子に注ぐ愛情はいつの時代も変わらないもの

からす なぜなくの からすは山に かわいい七つの子があるからよ
かわい かわいとからすはなくの かわい かわいとなくんだよ
山の古巣へ 行ってみてごらん まるい目をしたいい子だよ (野口雨情 作詞 『七つの子』)



誰もが一度は口ずさんだことのある童謡「七つの子」。しかしまだに答えがわかっていない謎がこの歌詞にあります。それは「七つ」が何をさすのかということ。鳥類学的にからすの「七才」はりっぱな大人(成鳥)。からすが一度に生む卵は多くても4～5個。年齢の七つも子の羽数の「七つ」も成り立たないというのです。

この「七つ」について新説を示したのが国語学者 金田一 晴彦氏。「七つの子」はかわいい盛りを表す慣用表現だといいます。室町時代の歌謡に「七つになる子がいたいけなことを言うた」という詞があり、この頃から「子どものかわいい盛りを象徴する年齢」として「七つ」が使われるようになったと推察されています。からすの子のかわいらしさを表すとともに、子に寄せる親の深い愛情を感じさせる歌詞です。

子どもを愛おしみ慈しむ心情はいつの時代も変わらないもの。平安時代末期の歌謡です。「遊びをせんとや生れけん、戯れせんとや生れけん、遊ぶ子供の声きけば、我が身さえこそ動(ゆる)がるれ」(梁塵秘抄)。愛情をいっぱいを受けて、ゆっくり芽をだせ、中和っこ。大きくなあれ、中和っこ。

今秋の豪雨災害から ～かけがえのない子どもたちの生命を守るために～

11月も半ばを過ぎ、早2学期を振り替える時期になりました。思えばつかの間の秋でした。日本の四季も変わってきたようです。何より、9月9日の台風15号に始まって、毎週のように台風や豪雨に悩まされた9月・10月でした。

特に中和小学校北側から西側の急傾斜地一帯は、平成22年6月18日に「土砂災害特別警戒区域」に指定されています。土砂災害の恐れのある区域(土砂災害警戒区域)のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域が土砂災害特別警戒区域となります。

特別警戒区域の指定を受けると危険性について周知され、次のような規制を受けます。

- 大雨によって土砂災害の発生する恐れが高まった場合は、安全な場所へ避難する必要がある
- 土砂災害の危険が高い場所への住居の新築を控えなければならない場合がある
- 住居改築の際は、堅固な構造にする必要がある

平成13年制定「土砂災害防止法」より一部を抜粋し、平易に書き直した

中和小学校として次の対応を考えています。

- 1 集中豪雨等により土砂災害発生が懸念される場合には速やかに休校または引き渡しによる下校等の措置をとる。
- 2 急な大雨や豪雨等で土砂災害の危険が迫る場合には干潟支所へ速やかに避難をする。干潟支所の改修工事完了までは避難場所は暫定的に干潟公民館とする。
- 3 震度5強以上の地震発生時には干潟支所に避難する。
(干潟支所工事完了までは「干潟公民館」が耐震基準を満たさないため、「干潟中学校」へ避難する。)



上記3・4の場合、引き渡し場所についてスクールメールに明示するようにします。また10月25日の豪雨時には迎への保護者の自家用車が水没した事例が千葉県内で発生しました。万が一の時には保護者の皆様も自身の生命を守ることを安全第一に落ち着いてご来校ください。

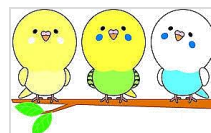
秋らしい青空が広がり、ようやく天気も落ち着き、何をするにも良い季節になって参りました。校舎には歌声が響きわたり、グラウンドではマラソン練習に励む中和小の子どもたちです。

本校には、学び方や発達段階に合わせて学習できるよう特別支援学級が2学級あります。くすのき学級では、見通しをもって生活、学習ができるようゆっくり繰り返し学習しています。すずがね学級では、集中力が続くように学習をいくつか組み合わせ、時と場に応じたコミュニケーションや集団生活において必要な社会性を育てるなど個人の課題に合わせた学習をしています。そして、どちらの教室も特別支援学級で個別に力を付けて、通常の学級でお互いに認め合い、支え合い、学び合う場を共有できるようにすることを目標としています。

安心して通級できるようにするために

すずがね学級に通級する児童が、「行ってきます。」と言うと、教室の友達は「行ってらっしゃい。」と言って送り出します。「ただいま。」と言って教室に戻ると、「お帰り」と言って迎えています。お互いに認め合い、安心して学習に取り組める雰囲気が出ています。

また先日は、「くすのき学級の友達に動物クイズを出そう。」と1年生がくすのき学級を訪ねて一緒に学習をしました。自分たちの教室に友達が来てくれたこと、自分たちのよく知っているいろいろな動物のクイズであったことで学習がとても盛り上がりました。時には特別支援学級で学習することで、お互いのことをより深く知ることができることにつながります。



「誰にでも得意と苦手がある」

10月に6年生の学級活動で「得意と苦手について考えよう」という学習をしました。自分の苦手について周りの人にどうしてほしいか、友達の苦手についてどう接していくかみんなで真剣に考えました。干潟中学校では萬歳小、古城小、中和小の3校が一緒になります。それぞれの学校で小さい頃から育まれた受容的な関係を新しい出会いによってさらに大きく広げていってほしいことを願っています。

お子さんの個別指導や学校生活・人間関係づくり等について相談したことがありましたら、お気軽にご用命ください。【相談担当窓口 教頭(平野) 養護教諭(川本)】

【お知らせ】

「動物による危害防止対策強化月間」 ～犬にかまれないために～

11月は「動物による危害防止対策強化月間」です。県内では、毎年子どもが犬にかまれて、けがをする事故が起きています。

次のことについてお子さんに注意を促し、事故の発生を防ぎましょう。



- 知らない犬には近づかない・手を出さない。
- 知っている犬であっても注意する。
近づく場合は飼い主の了解を取り、犬が落ち着いていることを確認してからにしましょう。
- エサを食べているとき・おもちゃで遊んでいる時はさわらない。
取られると思って攻撃する場合があります。
- しつこくさわると、犬がいやがることをしない。；慣れた犬でも我慢に限度があります。
- 放れている犬を見ても走らない・大声を出さない。
逃げると追いかけてくる場合があります。犬と目を合わさず、静かに離れましょう。飼い主不明の犬が放れている場合は、最寄りの保健所・動物愛護センターに通報してください。

海匝健康福祉センター(保健所) Tel 0479-22-0206 八日市場保健センター 0479-72-1281
千葉県動物愛護センター Tel 0476-93-5711 同東葛支所 04-7191-0050

諸会費の口座振替 (第4回のお知らせ)

今回は、教材費のみです。振替金額：4,000円＋農協手数料110円 合計4,110円

口座振替日 **令和元年11月27日(水)** 前日までに口座残高の確認をお願いします。

次回の振替は令和2年1月27日(月)になります。(担当 事務長 松田)

